

地域をむすぶ 葛城修験

～修験道でつながる歴史と文化～

IWADE



KINOKAWA



KATSURAGI



HASHIMOTO



日時

令和8年2月22日(日)

13:30 ～ 15:00 (開場 13:00)

場所

橋本市教育文化会館 2階大ホール

橋本市東家1丁目6-27

参加無料

定員

120名(要申込・裏面参照)

※申込多数の場合、抽選

手話通訳が必要な方は、お知らせください。

会場アクセス



講師 田中 利典 氏

『役行者と

葛城修験・大峰修験』

修験道の開祖と言われる役行者によって開かれた「葛城修験」と「大峰修験」。

「大峰修験」の総本山である金峯山寺の長膺 田中利典氏が役行者と葛城修験・大峰修験についてお話しします。



略歴／1955年京都府綾部市生まれ。龍谷大学文学部仏教学科卒業、叡山学院専修科卒業後、金峯山修験本宗総本山金峯山寺に奉職、執行、執行長、宗務総長を経る。帝塚山大学特定教授、種智院客員大学教授を務める。現在、金峯山寺長膺及び一般社団法人仏教生活センター会長、大容山林南院住職を務める。主な著作に「はじめての修験道」(春秋社)、「修験道入門」(集英社新書)がある。

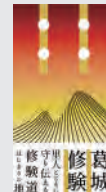
開催にあたって

修験道の開祖である役行者が初めて修行を積んだ地である葛城の峰々。和歌山県・大阪府・奈良県にまたがる総延長112kmに及ぶ葛城修験の道筋には、28の経塚をはじめとして、寺社や行場といった特色のある関連文化財が点在しています。

葛城修験について広く知ってもらうため、2023 年から紀の川流域の4市町合同で公開講座を開催しています。



葛城修験日本遺産
活用推進協議会



ね ころ じ ぎょうじゃどう 根来寺行者堂

岩出市

根来寺行者堂(重要文化財)は、修験道開祖役行者像を本尊として祀る修法の道場である。根来寺は平安時代(12世紀)に、覚鑑上人が大伝法院を創建して開き、このとき覚鑑上人は根来の地にあった修験行場を末寺とした。この末寺が現在の根来寺の起源で、行者堂はこの創建以来の歴史を伝える貴重な行場である。



なか つ がわ ぎょうじゃどう 中津川行者堂

紀の川市

中津川は二十八宿の「中台」と言われる葛城修験の中心地とされ、本山派聖護院により「葛城灌頂」という重要な儀式が行われてきた。熊野神社や行者堂、第7番経塚などの行場があり、役行者が行場を開くために協力した前鬼と呼ばれる五鬼の子孫が現在でも行場を守り、様々な協力を行っている。



し とう せんりょうおど 四郷千両踊り

かつらぎ町

毎年10月18日に近い日曜日に大宮神社の秋祭で奉納されている豊年万作等を祈念する踊りで、かつて旧暦7月16日に奉納されていたが一時途絶え、昭和58年に復興した。

中世に起源するとされ、少なくとも江戸時代に遡る。登場役の口上で修験者が伝えた踊りであると述べており、葛城修験が里人とともに守り伝えられてきたことを示すものである。



ふ とうやま きよせき 不動山の巨石

橋本市

この行所は葛城山から吉野金峯山へ橋を架けるため、役行者が一言主神に集めさせたと伝わる巨石群である。集落の外れから 635 段の階段を登りつめた先に、3～5m以上もの巨石が屹立する光景が目映える。顔が醜かった一言主神は人目を避け、日中は活動しなかったため、集石だけで終わったという伝承を今に伝える。



申込方法

申込期間:令和7年12月1日(月)～令和8年1月21日(水)

① 郵 送

往復ハガキに必要事項を記入し下記宛先まで郵送ください。申込結果は返信ハガキにてお知らせいたします。手話通訳が必要な方はお知らせください。

郵送先/〒649-6292

和歌山県岩出市西野 209 番地

岩出市教育委員会生涯学習課 宛

申込期限/令和8年1月21日(水)消印有効

② 申 込 み フ ォ ー ム

右記の二次元コードからお申込みください。



記入例

(往信面)

(返信面)

郵便往復はがき 〒649-6292 岩出市 生涯学習課 宛 〒649-6292	※この面には何も 書かないでください	郵便往復はがき 〒000-0000 ⑥郵便番号 ⑤氏名 ④住所 申込者の 〒000-0000	①氏名 ②連絡先電話番号 ③同行者の氏名 (最大3名)
--	-----------------------	--	--------------------------------------

※天候状況等により、開催を中止する場合があります。

お問合せ

岩出市教育委員会生涯学習課 (0736-62-2141)